

## 1 ニセ電話気づかせ隊の参加団体・参加人数（平成30年7月末現在）

参加団体数 11, 174 団体  
(前月比+31 団体)

参加人数 34万2, 855 人  
(前月比+370 人)

## 2 被害阻止件数・阻止

	阻止件数	阻止額
平成30年7月単月	27件	890万円
平成30年1月～7月	349件	2億415万円
平成29年1月～7月	544件	4億7,044万円

## 3 手口の変化と被害防止対策

### (1) キャッシュカード受取型のオレオレ詐欺が増加

警察官などをかたる犯人が電話で、「あなたのキャッシュカードが不正に利用されている」などと被害者の不安をあおり、別の犯人が被害者宅にキャッシュカードを取りにくる手口が増加しています。

犯人らは、金融機関やコンビニエンスストアなどによる被害阻止活動が活発になったため、被害者と第三者の接する機会のないキャッシュカード受取型に手口を変化させたと考えられます。

### (2) 被害防止対策

#### ▶ ニセ電話詐欺被害防止機器の導入

一度、犯人からの電話に出てしまうと、巧みな話術で誰かに相談する暇もなくキャッシュカードをだまし取られてしまいます。犯人の電話をシャットアウトする被害防止機器の導入を検討しましょう。

#### ▶ 他人に通帳やキャッシュカードは渡さない

通帳やキャッシュカードを渡すことは、現金を渡すことと同じです。個人情報やお金の管理には細心の注意を払いましょう。

#### ▶ 電話でお金はすべて詐欺！すぐに相談110！

電話でお金に関する話が出た時には必ず一度電話を切り、家族や身近な人に相談または警察に通報しましょう。